

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人 華苑学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
3年課程 看護専門課程	看護学科	夜・通信	735 単位時間	240 単位時間	
		夜・通信			
助産師課程（全日制）看護専門課程	助産学科	夜・通信	172 単位時間	80 単位時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人 華苑学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/>

「平成30年度 情報提供等への取組に関するガイドラインに基づく情報提供」p3へ記載

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	2018.6.1～ 2022.5.31	運営全般へのチェック機能
非常勤	医療法人理事長	2018.6.1～ 2022.5.31	運営全般へのチェック機能
(備考) 学識経験者のうちから選任			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人華苑学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師に関しては、授業科目について相当の学識経験を有し、経歴、専門分野等を十分に考慮して選任する。本校の教育目標、履修システムを説明し、学習の目的・目標・内容・方法、評価方法、教科書、時期、時間数など打ち合わせし授業計画を作成する。 ・学内の教員(専任教員の資格を有する)に関しては、授業科目について看護実践現場で実務経験を有し、実践的な教育を行っている者を選ぶ。学習の目的・目標・方法・評価方法、授業の時期、教科書等について教務会議で検討し、授業計画を作成する。 ・前年度の2月中旬までに次年度の授業計画を作成する。 ・実務経験のある教員による授業科目・授業時間は一覧表で周知する。 <p>授業計画書(シラバス)の公表時期</p> <p>新年度始業式に学生へ配布と同時にインターネットによる公表</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法は、履修の手引き(シラバス)の各科目の評価方法(試験、レポートなど)に記載されている方法に基づき厳格かつ適正な評価をしている。 ・学科試験受験資格については、学習評価・単位・卒業・修了認定規定第4条に基づき、当該科目について規定時間数の3分の2以上出席した者とする。 ・成績評価の基準は、学修成果に基づき100点満点で点数化し、80点以上を優、70～79点を良、60～69点を可、60点未満を不可とし、60点以上に履修を認定し、単位を授与している。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生の学習成績については、学則第4章11条の規定に従い、学年ごとに開講される科目の学科試験の合計点数を学年ごとに開講される科目の数で除算したものをもとに算出し、学年ごとに順位づけしている。この指標の算出方法についてはホームページで公開している。</p> $\text{平均点} = \frac{\text{学年ごとに開講される学科試験の合計点数}}{\text{学年ごとに開講される学科試験の科目数}}$ <p>*平均点の算出には、本試験の点数および60点以下の場合再試験を実施し、その点数を用いる。また、学生の成績分布についても、上記方法により算出した数値により適切に把握している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学生に対して看護師・助産師として必要な知識及び技術を教授し、社会に貢献し得る有能な人材を育成することを目的とする。そのために学則第5条に定める修業年限在学し看護学科97単位、助産学科29単位の成績を修めることを卒業要件とする。詳細については学則11条、第12条、第13条の他、学則施行細則第8条、第9条に規定しており、学生の卒業認定についてもこれらの規定に従い適切に実施している。ディプロマ・ポリシーについてはホームページに公開している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	熊本看護専門学校
設置者名	学校法人 華苑学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
財産目録	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
事業報告書	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		3年課程 看護専門課程	看護学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,090 単位時間	1,260 単位時間	825 単位時間	1,035 単位時間	単位時間	単位時間
			3,120 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		236 人	人	13 人	34 人	47 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）看護学科のカリキュラムは、人間の生命を尊重し、自ら考え行動できる豊かな人間性を備える教育内容を基盤とし、状況判断能力や医療安全を考えたシミュレーション教育を専門分野Ⅰ・Ⅱ・統合分野に取り入れ、看護実践能力の向上を図っている。また、保健医療福祉が連携して総括的、組織的に取り組み、人々の健康状態がより高いレベルになるよう、科学的根拠に基づいた看護実践ができるようなカリキュラムを編成している。</p> <p>（授業計画作成過程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師に関しては、授業科目について相当の学識経験を有し、経歴、専門分野等を十分に考慮して選任する。本校の教育目標、履修システムを説明し、学習の目的・目標・内容・方法、評価方法、教科書、時期、時間数など打ち合わせし授業計画を作成する。 ・学内の教員（専任教員の資格を有する）に関しては、授業科目について看護実践現場で実務経験を有し、実践的な教育を行っている者を選ぶ。学習の目的・目標・方法・評価方法、授業の時期、教科書等について教務会議で検討し、授業計画を作成する。

成績評価の基準・方法
(概要) 学科試験の成績は、100点満点法により80点以上を優、79～70点を良、69～60点を可及び60点未満を不可とし、60点以上を合格とする。学科試験を受けることのできる者は、当該科目について規定時間数の3分の2以上出席した者。臨地実習の評価は実習指導者と学校の総合評価に基づいて判定し、60点以上を合格とする。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業認定基準は基礎分野13単位、専門基礎分野21単位、基礎分野Ⅰ13単位、専門分野Ⅱ38単位、統合分野12単位の合計97単位取得した者。進級基準は1年生36単位、2年生42単位、3年生19単位で、必要な単位を取得した者。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に模擬試験を実施し専門知識の確認、定着を図る。 ・臨床実践者の授業をとりいれ、最新の知識・技術を学ぶ。 ・実習施設と連携を密に行い、実習環境を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
63人 (100%)	4人 (6.3%)	57人 (90.5%)	2人 (3.2%)
(主な就職、業界等) <ul style="list-style-type: none"> ・県内実習病院19人、県内実習病院以外32人、県外医療機関5人 			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> ・就職ガイダンスを2年次夏、3年次春に実施。 ・就職資料コーナーを設け、就職に必要な情報を提供。 ・教員による個別相談、模擬面接の実施。 			
(主な学修成果(資格・検定等)) <ul style="list-style-type: none"> ・看護師国家試験受験資格 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
238人	17人	7.1%
(中途退学の主な理由) 成績不振による学業継続困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・クラス担任制を採用し、個々の学生へ学業から生活までサポートできる体制 ・学外の学校カウンセラーによるカウンセリング 		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		助産師課程 (全日制)看護専門課程	助産学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	945 単位時間	450 単位時間		495 単位時間		
			945 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
15人	14人	人	3人	15人	18人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要) 知識・技術の習得だけでなく、知識を用いて判断力や応用力を高め、地域に貢献できる助産師を育てたく、カリキュラムを編成している。</p> <p>(授業計画作成過程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師は授業科目について相当の学識経験を有し、経歴・専門分野を考慮し選任する。本校の教育目標、履修システムを説明し、学習の目的・目標・内容・方法、評価方法、教科書、時期、時間数など打ち合わせし授業計画を作成する。 ・専任教員の授業科目については、各自助産師の現場で実践経験を十分有している者が担当する。学習の目的・目標・方法・評価方法など教務会議で授業計画を作成する。 ・授業は4月から6月までと11月から12月まで 実習は7月から11月7日までと1月に実施
成績評価の基準・方法
<p>(概要) 学科試験の成績は、100点満点法により80点以上を優、79～70点を良、69～60点を可及び60点未満を不可とし、60点以上を合格とする。学科試験を受けることのできる者は、当該科目について規定時間数の3分の2以上出席した者。臨地実習の評価は実習指導者と学校の総合評価に基づいて判定し、60点以上を合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 基礎助産学6単位、助産診断・技術学8単位、地域母子保健1単位、助産管理2単位、研究1単位、臨地実習11単位の合計29単位を取得した者</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に模擬試験を実施し専門知識の確認、定着を図る。 ・臨床実践者の授業をとりいれ、最新の知識・技術を学ぶ。 ・実習施設と連携を密に行い、実習環境を整えている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 ()	13人 (100%)	人 (%)

(主な就職、業界等) ・ 県内実習病院 4 人、県内実習病院以外 3 人、県外医療機関 6 人
(就職指導内容) ・ 就職資料コーナーを設け、就職に必要な情報を提供 ・ 教員による個別相談
(主な学修成果 (資格・検定等)) ・ 助産師国家試験受験資格 ・ 受胎調節実地指導員の申請資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	1 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 成績不振による学業継続困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ クラス担任制を採用し、個々の学生へ学業から生活までサポートできる体制 ・ 学外の学校カウンセラーによるカウンセリング		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)	
看護学科	200,000 円	540,000 円	250,000 円	施設整備費 200,000 円、 習費 50,000 円	実
助産学科	200,000 円	720,000 円	400,000 円	施設整備費 200,000 円、 習費 200,000 円	実
	円	円	円		
修学支援 (任意記載事項)					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会は卒業生・保護者・地域住民・実習病院管理者・看護協会管理者の 6 名より構成、任期は 2 年とする。 ・評価委員会は自己評価結果の主な項目 (教育課程経営・経営管理課程など) について評価を実施する。 ・教務部長は評価結果を踏まえ、改善策を明確にし、期初より推進していく。 		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020 年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行う		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に実施・公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.kumamotokango.ac.jp 履修の手引き・入学案内・学生募集要項 (刊行物) は窓口または郵送にて配布
